

1. 活動の概要

6月30日(金)、松江市立持田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。まずは職員が持田小周辺の遺跡や玉作りについてパワーポイントを使って説明しました。持田小の近くにはたくさんの古墳があること、身近なところに遺跡がたくさんあることを知ってびっくりしたり、感心したりしていました。また実際に小学校周辺の古墳から出土した埴輪などを見学し、古墳時代当時の様子を想像するきっかけになりました。

次に、勾玉づくり体験を行いました。それぞれに道具を使って、勾玉づくりを進めました。時間を延長して、なんとかみなさん、最後の仕上げをし、無事に完成させることができました。勾玉づくりを通して、古墳時代の人々の技術の高さを体感していました。

2. 活動の様子

1)持田小周辺の古墳について知る



「島根県に古墳は何基あるでしょう？」



「勾玉を実際に見てみましょう！」

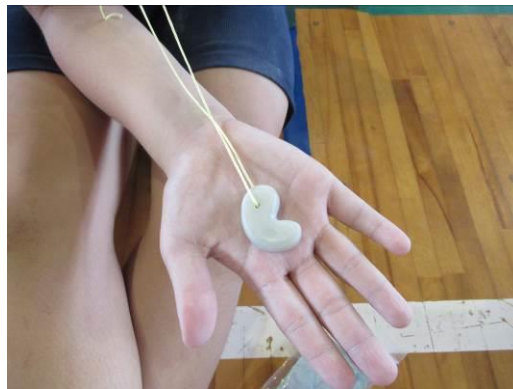
2)古代体験活動～勾玉づくり～



勾玉づくりスタート！上手にできるかな？



曲がった部分を削るのが難しい！



勾玉完成！

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・小学校の周りに古墳がいっぱいあるということが心に残った。
- ・実際に小学校の周りの古墳を見てみたい。
- ・歴史のことを知るのとはとても楽しいことなんだと思った。
- ・みんなで勾玉をつくったことが心に残った。

2)担任の先生から…

- ・勾玉づくりを通して、古墳時代の人々のくらしを感じることができ、良かった。
- ・地域の古墳のことを知ることができて良かった。
- ・座学や勾玉づくりをして、歴史に触れることができてとても良かった。

3)古代文化センターから

小学校の周辺にたくさんの古墳があることを知ってもらえ、身近なところに遺跡があることは子どもたちにとっても驚きだったようです。小学校周辺の身近な地域の歴史ということもあり、実際に古墳に行ってみたいと回答したアンケートが多く、自分の住んでいる地域の歴史に興味を持ってもらうことができました。

勾玉づくりでは、慎重な子、大胆な子と、作業のスピードがそれぞれで無事に全員完成するか不安な部分がありました。先生のご配慮により、時間を延長することでみなさん、なんとか完成することができました。子どもたちの人数が多く、目の行き届かないところもあり、座学や遺物見学の時間をもう少し短くして、体験にもう少し余裕をもつ必要があったかと思います。実際に作業をする中でうまくいかない部分や難しい部分があり、勾玉づくりを体験して、当時の技術の高さを実感してもらっきっかけになったと思います。